

軽井沢町の自然環境保全に関する提言書（案）

雄大な浅間山の麓、緑豊かな自然に恵まれた軽井沢は四季折々に美しい姿をみせ、町内外の多くの人々に愛され続けてきた。それによる人流の増加は町に活気をもたらす半面、先人の手によって作り上げられてきたかけがえのない自然環境や歴史的景観、文化遺産の衰退を招いているとの危惧もある。軽井沢町長期振興計画における町民アンケートにおいて住みやすい町、大切にしたい軽井沢のイメージ、次代へ継承していくべきものなど複数の設問で自然環境がトップを占めていることから町民の自然環境への想いの強さが読み取れる。

このような状況を鑑み、「軽井沢ブランドの持続と進化」をテーマにした今期の風土フォーラムでは、軽井沢ブランドと切っても切れない関係にある「自然環境」について理解を深めるためのセミナーや、住民同士で自然環境について語らうことのできるおしゃべり場を開催してきた。

私たち住民はこれまで継承されてきた軽井沢の美しく緑豊かな自然環境や景観を守り育て、後世へと引き継いでいく義務があることから下記の通り提言する。

1. 「自然環境」といってもそれぞれの価値観や考えにより捉え方はそれぞれであるため、過度な開発は抑制し、このエリアは自然環境を優先して保全していくなど町としての方向性を示すことが望ましい。そのうえで行政・住民・業者・専門家との協働体制を整え、環境に順応した推奨樹木を提示する等、具体的なガイドラインを策定することも有効な手段の1つとして検討されたい。
2. 継続的に軽井沢特有の自然環境・自然史について学ぶ機会、互いに語らう機会を提供していくことは、軽井沢の自然環境を保全していくうえで有効な啓発活動の1つであると考え。住民の多様性を考慮し、言語・年齢・身体障がい・生活環境等に関わらず受けられることとともに、住民以外の土地所有者や町外業者など軽井沢に関わる全ての人に対して開かれた場であることが望ましい。